

株式会社WAKUWAKUやまのうち の取組事例 (説明資料)

2016年12月20日

WAKUWAKUやまのうち
代表取締役社長
岡 嘉紀
(地域経済活性化支援機構
シニアマネージャー)

湯田中温泉のある長野県山ノ内町

基礎情報①

- 山ノ内町は、湯田中渋温泉郷、志賀高原、北志賀からなる県内有数の観光地として知られる。



湯田中渋温泉郷：湯田中温泉、新湯田中温泉、星川温泉、穂波温泉、安代温泉、渋温泉、角間温泉、上林温泉、地獄谷温泉

基礎情報②

長野県
山ノ内町

人口

1.3万人

アクセス

長野電鉄
高速道路（バス含む）

観光業の
位置づけ

主たる産業

観光資源

湯田中渋温泉郷、
志賀高原 など

課題

- ・ 宿泊客の減少
- ・ 観光資源の有効活用
- ・ 冬季への偏重 など



スノーモンキー



金具屋



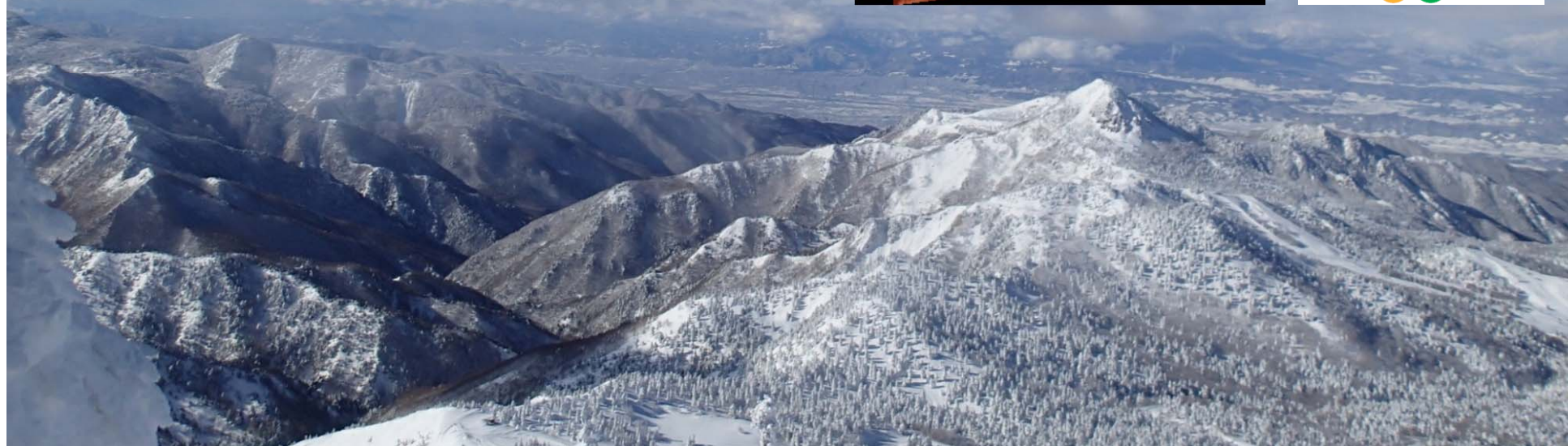
よろづや（桃山風呂）

スキーブームだったH2年をピークに観光客は減少。

観光地延利用者数は**ピーク時対比 46%**

H2年 985万人 ⇒ H26 459万人

(うち湯田中渋温泉郷/H2年 223万人 ⇒ H26 121万人)



スノーモンキー

地獄谷野猿公苑には、
年間約8万人（2015年）の
外国人観光客が訪れているといわれています。
山ノ内町全体での外国人宿泊者数は、年間2.7万人程度。
うち湯田中渋温泉郷では1万数千人に留まっています。

取組内容

具体的に着手している湯田中温泉「かえで通り」



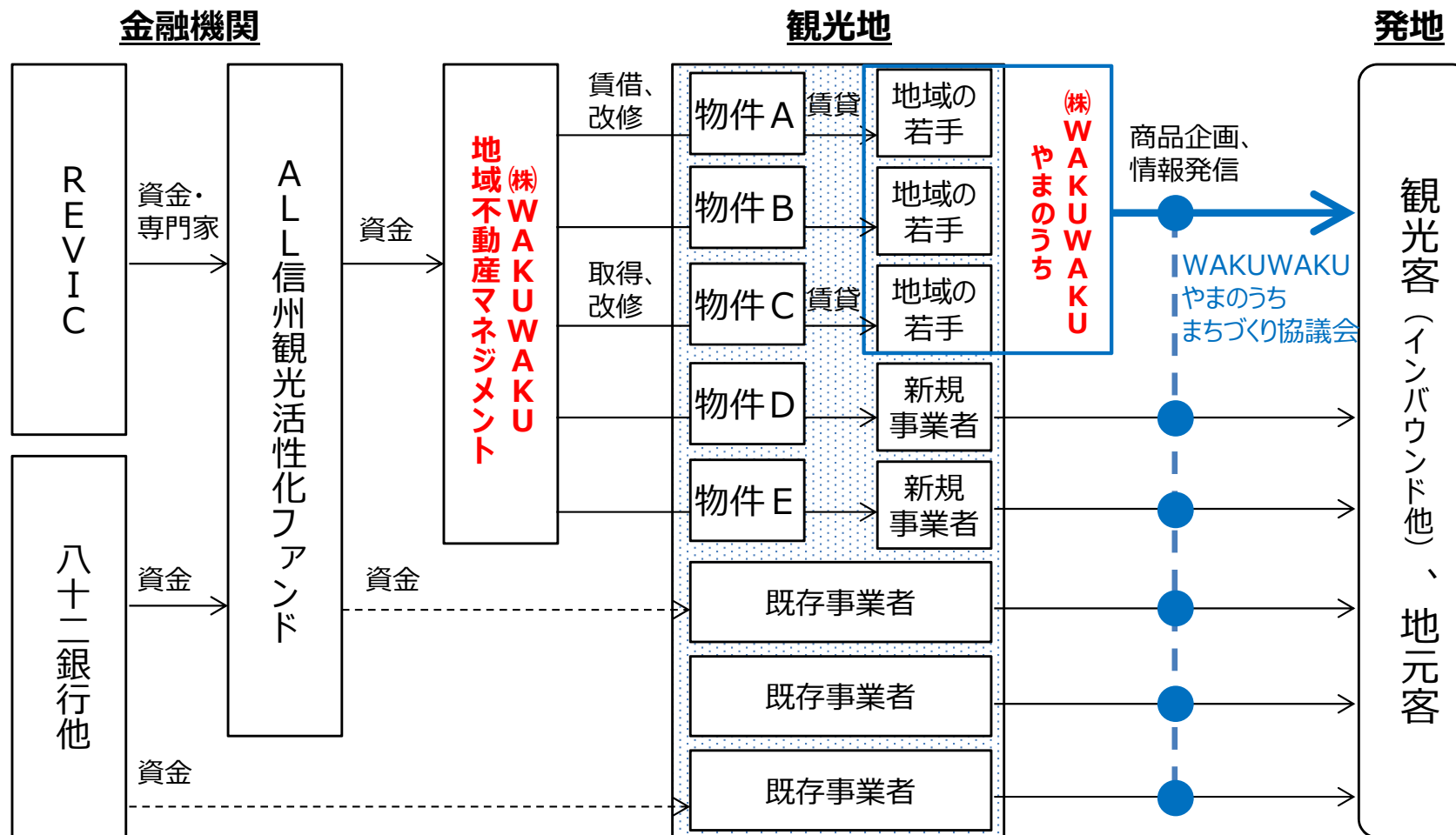
【参考】「かえで通り」



事業スキーム

- 本取組の主体は、直営店舗の運営及びDMOとしての情報発信等を行う「WAKUWAKUやまのうち」と、未活用物件の取得・改修／賃貸等を行う「WAKUWAKU地域不動産マネジメント」からなる。

取組の全体像



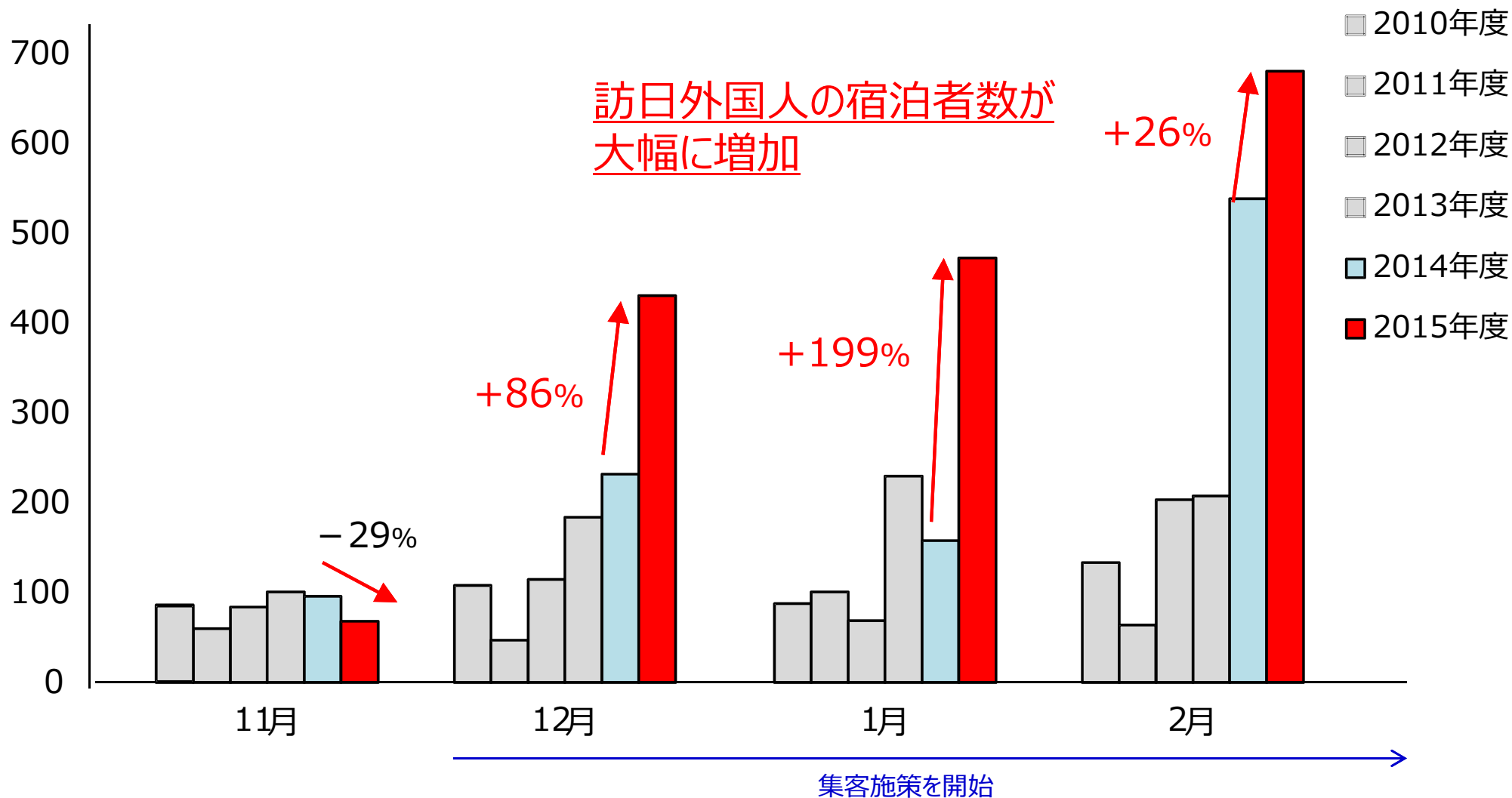
※ (株)WAKUWAKUやまのうちの期運転資金も同ファンドからの投融資。

「まちづくり」

「ひとづくり」

【参考】約1年の活動による効果（例）

- 「かえで通り」の旅館（データを提供頂いた1旅館の実績）では、我々が活動を開始した初年度の冬季における訪日外国人の宿泊者数が大幅に増加した。



「まちづくり」の取組

遊休物件のリノベーション

- 旧青果店や旧洋品店、旅館などの遊休物件を活用し、地域の文化などを踏まえたリノベーションによって、必要な機能を補完する店舗をオープンした。



旧青果店



ビアバー&レストラン



地元食材 × 発酵文化



旧洋品店



カフェ&スペース



'お茶'のメニュー



旧旅館



ホステル



ホステル&カフェ (ZEN、外部事業者へ賃貸)

月例のまちづくり委員会（兼 協議会）

- 月に1回の「まちづくり委員会」を開催し、地域の方々や専門家の意見を聞きながら、店舗のオープンに向けた作業を進めた。

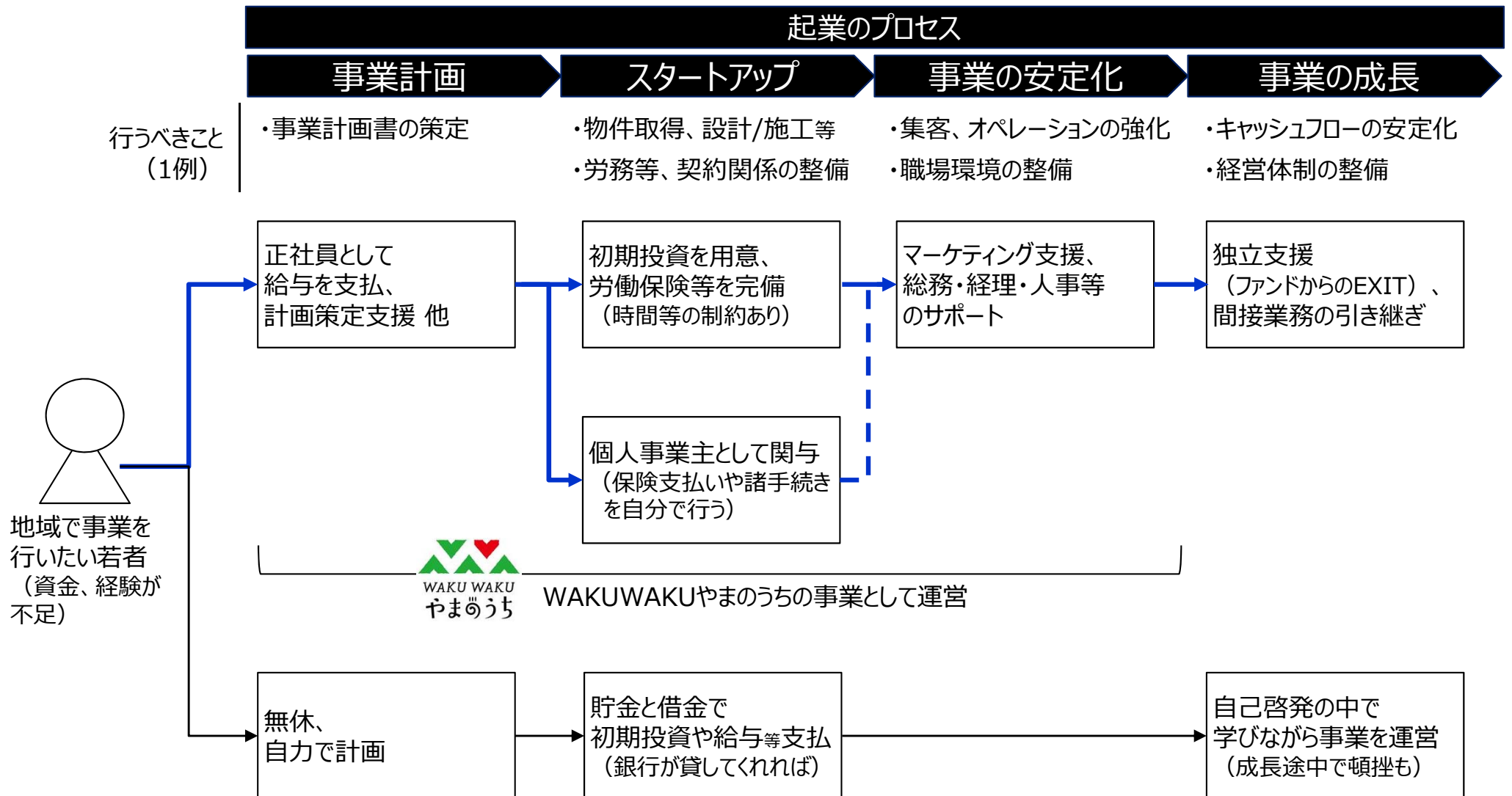


参加者：旅館の社長・女将、不動産屋、地銀支店長、地元事業者、農家、建築士、地元若手 他

「ひとつづくり」の取組

経営者人材（雇用主）の育成

- WAKUWAKUやまのうちは、将来の地域の担い手を育てるため、起業のプロセスの初期段階を内部の事業として行い、事業の成長フェーズでの独立も支援する。



(株)WAKUWAKUやまのまち
取締役 飲食事業部長
君島登茂樹



(株)WAKUWAKUやまのうち
取締役 宿泊事業部長
西澤良樹



地域の若手ネットワーク



内部ミーティングの様子



情報発信

step1 : 活動を地域内外に知って頂く

※ 観光庁「地域資源を活用した観光地魅力創造事業」を活用

*Yamanouchi
Lantern*

山田の温泉、春先で通りがこみ交、幻想的な世界へ生まれ変わります。
歴史ある旅館でアートインスタレーション、ファンタジーのイルミネーション、
足湯やお買いものをとお楽しみください。

2015.12.11金 | - 2016.3.21月・祝 |

時間 | 16:00-20:00
会場 | 湯田村温泉、かえで通り
(長野電鉄 湯田駅前)

地元の方々からなるファーマーズマーケットとカフェを
期間限定で提供し、地元の商店の皆様と共に盛り出す
新しいおもてなしを体感して頂きます。

※ 観光庁「地域資源を活用した観光地魅力創造事業」に採択して
（WAKU WAKU やまのうち 主催）

WAKU WAKU やまのうち

【詳細情報・お問合せ】 <http://wakuwaku-yamanouchi.com/>

step2 : 認知を高めながら、成果に繋げていく

- 2016年度は、インバウンドを対象としたハード整備を一気に行うと共に、snowmonkeyをアイコンとした情報発信を「宿泊と周遊の促進」を目的として行っている。



最後に

できていること

- ✓ 地銀を含む、民間主導の面的活性化（への着手）
- ✓ ファンド等、リスクマネーを活用した休廃業旅館の利活用
- ✓ 地域の若手人材の育成
- ✓ DMOとしてのマーケティング／地域マネジメント

今後の課題

づくりまち

- 買い物や体験などができる店舗の設置
- 街灯などを含む、基礎的な街並みの改修
- **空き家や古民家等**の利活用

づくりひと

- **更なる経営者候補（若手）の招聘／育成**（給与補助等があると助かる）
- IターンやUターンによる、定着するスタッフの確保
- **早期の事業承継**による担い手の若返り

発信情報

- 発地（海外、首都圏等）での発信強化
- バスツアーなど、グリーンシーズンを含む旅行商品の拡充